

## 臨床研究の実施に関する情報公開

当院では、静岡県立総合病院臨床研究倫理委員会にて審査を受けたうえで、院長の許可を得て下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	超音波内視鏡下胆嚢ドレナージ（EUS-guided gallbladder drainage : EUS-GBD）の検討
対象者	2016年4月より2026年10月に当院で難治性胆嚢炎に対してEUS-GBDを施行された患者さんを対象にしています。
研究期間	研究機関の長の実施許可日 ～ 2027年3月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	2026年2月20日
当該研究の目的	<p>切除不能な悪性胆道閉塞患者に対する内視鏡的金属ステント留置後や全身状態不良例での胆嚢炎患者は耐術能のない場合が多く、低侵襲な胆嚢ドレナージ法の確立が重要な臨床課題です。</p> <p>超音波内視鏡下胆嚢ドレナージ(EUS-guided gallbladder drainage : EUS-GBD)はその選択肢の1つですが、従来使用されていたステントはプラスチックでした。新たに2025年6月にダンベル型の金属ステント(lumen-apposing metal stent : LAMS)が本邦で保険収載されたため、本研究では従来型デバイスとLAMSを用いたEUS-GBDの臨床成績および合併症を比較検討します。また、本邦臨床におけるEUS-GBDの適切な位置づけを明らかにすることを目的としています。</p>
利用する試料・情報の項目	<p>&lt;情報&gt;以下の情報を診療録より収集します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・背景因子（年齢、性別、既往歴）</li><li>・血液検査結果</li><li>・胆嚢炎の有無及びその治療内容</li><li>・EUS-GBD手技情報（時間、内容）</li><li>・合併症の有無</li><li>・胆嚢炎再燃の有無 など</li></ul>
研究責任者	静岡県立総合病院 肝胆膵内科 川口真矢
問い合わせ先	<p>他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、本研究の計画や関連資料を閲覧することが可能です。この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。</p> <p>静岡県立総合病院 肝胆膵内科 川口真矢 電話番号：054-247-6111（代表）</p>